

TOYAKO MUSEUM OF ART



BIKKY SUNAZAWA
EXHIBITION 2021

砂澤ビッキ展

—遊 動物とビッキー—

洞爺湖芸術館 秋特別展

2021

10/9 土 11/30 火

開館時間／9:30～17:00（入館は16:30まで）

入館料／一般300円・高校生200円・小中学生100円 町民無料、他割引あり

休館日／毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は翌日

主催／洞爺湖芸術館 協力／公立はこだて未来大学、洞爺湖芸術館友の会

後援／公益財団法人道銀文化財団

洞爺湖芸術館
TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 北田郡洞爺湖町洞爺町96番地3
TEL & FAX : 0142-87-2525 WEB : <http://www.geijutukan.net/>



右上／タイトル・制作年不詳 右下／「雨の中のチャ」(1996年)
中央上／タイトル・制作年不詳 中央下／タイトル・制作年不詳
左／タイトル・制作年不詳 左下／「タイトル不詳」(1995年)
全く個人蔵

砂澤ビッキ展

洞爺湖芸術館 秋特別展

一遊 動物とビッキ

彫刻家・砂澤ビッキ(1931～1989)が描いたスケッチの中に、「動物」を扱ったものが数多く残されています。世界中の動物たちにビッキの傍にいた動物、そしてビッキの想像した架空の生き物「タワキ」。それらは時に擬人化されて描かれており、描写からは彫刻で見る力強い印象とは異なりユーモアと優しさにあふれています。また、スケッチ上に残された言葉の一部からは、彼の日常や思考の一端を知ることができます。

タイトルにある「遊」の字は、神様が自由に行動するという意味から、後に人が心のおもむくままに行動して楽しむ意味として用いられるようになりました。紙と鉛筆さえあれば、場所と時間を問わず心のおもむくままに描いていったビッキ。本展では、彼が残した動物スケッチ約250点の中から選んだ実物スケッチと共に、彼と動物の姿を写した写真を展示いたします。また、本展に合わせてデジタル化した動物スケッチの動画を公開いたします。当館が所蔵する雄大で力強いビッキの木彫作品と共に、新たな一面に触れてください。



撮影：井上 浩二

砂澤ビッキ

北海道旭川市出身。初期には阿寒湖畔と鎌倉、その後札幌を制作の拠点としたが、1978年からは音威子府村箴島(おさしま)の小学校跡にアトリエを構え、亡くなるまでの十余年、精力的に木彫作品の制作を行った。

【略年譜】

- 1931年 旭川市に生まれる。本名は恒雄(ひさお)、ビッキは幼少時からの愛称。
- 1952年 上京、独学で絵画・彫刻を学ぶ。
- 1955年 モダンアート協会展(東京)入選。
- 1959年 北海道に戻り、以降東京を中心に個展を開催。
- 1983年 カナダに留学。
- 1989年 神奈川県立県民ホール「現代作家シリーズ」89 上野憲男・砂澤ビッキ・吹田文明展
1月22日のオープニングに病をおして出席。
1月25日 札幌にて没(享年57歳)



1



2



3



4



5

1 タイトル・制作年不詳 / 2 タイトル・制作年不詳 / 3 タワキシリーズ タイトル・制作年不詳 全て個人蔵
4 撮影 井上マリエ / 5 撮影 井上浩二

ご来館のお客様へのお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策のご協力をお願いします

マスクの着用 / 手指の消毒、手洗い / 入館時の連絡先の記入 / 一定の間隔をあげた鑑賞

洞爺湖芸術館
TOYAKO MUSEUM OF ART



〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町96番地3
TEL 0142-87-2525
WEB <http://www.geijutukan.net/>

